

D5000

クイックリファレンスガイド

はじめに

このガイドは、D5000の基本的な操作方法を、目的に応じてより早くご理解いただくためのものです。各機能の詳細については、取扱説明書をお読みください。

目次

プログラムの呼び出し (リコール)	1
プログラムの修正 (エディット)	2
プログラムの保存 (ストア)	3
ステレオ/モノ入力の選択	4
ディレイタイムのテンポ表示	5
FREEZEの実行	6
REPEAT DELAYの実行	8

プログラムの呼び出し (リコール)

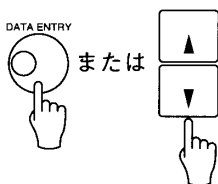
D5000は100個のプログラムエリアを持っています。その中から、目的に最も近い内容を持ったプログラムを呼び出します。目的に適したプログラムタイプを使用したプログラムを選んでください。

例：プログラムNo.3「Double Slap」を呼び出します。

1 [PROGRAM] キーを押します。

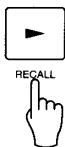


2 プログラムを選びます。



- ← • プログラムタイプを確認してください。
- DUAL = Dual Delay
 - SINGLE = Single Delay
 - FREEZE = Freeze
 - S & H = Sample & Hold

3 [RECALL] キーを押します。

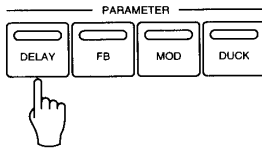


★ エディット後にストアせずにリコールしようとする時、この段階で「Are you sure?」と表示されます。もう一度 [RECALL] キーを押すとリコールします。

プログラムの修正 (エディット)

呼び出したプログラムを必要に応じて修正します。

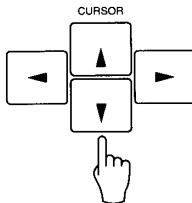
1 変更したい [PARAMETER] キーを押します。



★ [DELAY] キーにはページがありますので、目的のパラメーターが表示されるまで、[DELAY] キーをさらに数回押します。

- Delay系タイプのプログラムの場合には、[DELAY]、[FB]、[MOD]、[DUCK] キーの中から選んで、そのキーを押します。
- Freeze、Sample & Holdタイプのプログラムの場合には、[DELAY] キーを押します。

2 パラメーターを選びます。



	TIME	ILVL	PAN
①	NOR 50.00	100	L16
②	NOR 60.00	100	R16
③	OFF		
④	NOR 30.00	100	L16
⑤	NOR 60.00	100	R16
⑥	OFF		

- ←
- 変更可能なパラメーターの数値やデータの表示が反転します。この状態を「カーソル」と呼びます。

3 数値やデータを変更します。



	TIME	ILVL	PAN
①	NOR 50.00	100	L16
②	NOR 60.00	100	R16
③	OFF		
④	NOR 30.00	100	L16
⑤	NOR 60.00	100	R16
⑥	OFF		

★ [FB]、[MOD]、[DUCK] キーをもう1度押すと、それぞれの機能のON/OFFが切り替わります。

プログラムの保存 (ストア)

修正したプログラムを保存します。
100個のプログラムエリアのどこにでも保存が可能です。

例：修正したプログラムNo.3「Double Slap 2」を、No.6に保存します。

1 必要に応じて、プログラムタイトルを変更します。

[DELAY] キーの3ページの「TITLE」で、変更できます。

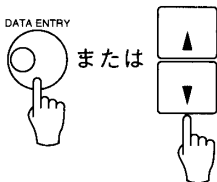
2 [PROGRAM] キーを押します。



3 [STORE] キーを押します。



4 ストア先のプログラムを選びます。



★ **3**と**4**の順番は逆でも構いません。

5 [STORE] キーを押します。



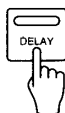
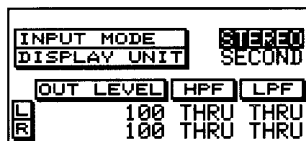
★ 書き換えてしまったプリセットプログラムは、UTILITYの「PARAMETER COPY」機能で呼び出せます。

ステレオ／モノ入力の選択

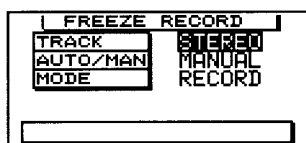
リアパネルの接続の実際にかかわらず、キー操作によって入力の選択が可能です。
この設定は、バイパスにも反映し、また、プログラム毎に記憶されます。

- 1 [DELAY] キーを、下記のページが表示されるまで、1回または数回押します。

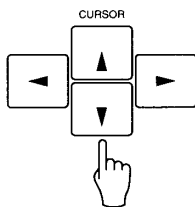
<Delay系タイプのプログラムの場合>



<Freeze、Sample & Holdタイプのプログラムの場合>

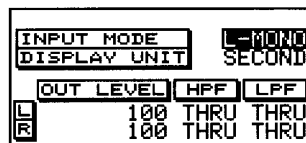


- 2 「INPUT MODE」または、「TRACK」にカーソルを移動します。

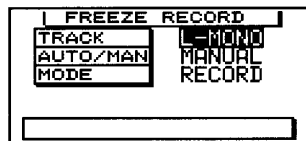


- 3 入力を選択します。

<Delay系タイプのプログラムの場合>



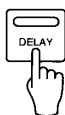
<Freeze、Sample & Holdタイプのプログラムの場合>



ディレイタイムのテンポ表示

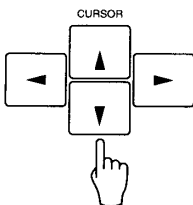
Delay系のプログラムでは、音楽のテンポおよび音符でディレイタイムの設定ができます。

- 1** [DELAY] キーを、下記のページが表示されるまで、1回または数回押します。



INPUT MODE		STEREO	
DISPLAY UNIT		SECOND	
OUT LEVEL		HPF	LPF
L	100	THRU	THRU
R	100	THRU	THRU

- 2** 「DISPLAY UNIT」 にカーソルを移動します。



INPUT MODE		STEREO	
DISPLAY UNIT		SECOND	
OUT LEVEL		HPF	LPF
L	100	THRU	THRU
R	100	THRU	THRU

- 3** 「TEMPO」 を選択します。



INPUT MODE		STEREO	
DISPLAY UNIT		TEMPO	
OUT LEVEL		HPF	LPF
L	100	THRU	THRU
R	100	THRU	THRU

- 4** [DELAY] キーを2回押して、下記のページを表示します。

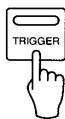


		J=100	TIME	LVL	IFAN
①	NOR ♪♪♪	30	100	L16	
②	NOR ♪♪♪	60	100	R16	
③	OFF				
④	NOR ♪♪♪	30	100	L16	
⑤	NOR ♪♪♪	60	100	R16	
⑥	OFF				

- 5** [DATA ENTRY] または、[TRIGGER] キーで、テンポを入力できます。



または



		J=100	TIME	LVL	IFAN
①	NOR ♪♪♪	36	100	L16	
②	NOR ♪♪♪	72	100	R16	
③	OFF				
④	NOR ♪♪♪	36	100	L16	
⑤	NOR ♪♪♪	72	100	R16	
⑥	OFF				

- リアパネルに接続したフットスイッチまたは、MIDI クロックによる入力も可能です。
- 設定されているテンポで、[TRIGGER] キーのLEDが点滅します。

- カーソルの位置にかかわらず、[TRIGGER] キーを続けて2回以上押すと、その間隔の平均値がテンポとして入力されます。

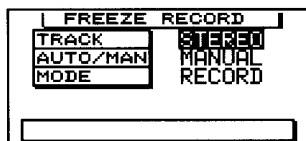
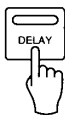
FREEZEの実行

通常の録音に加えて、書き加えができるOVERDUB録音や、最新の5.2秒(ステレオ)または10.4秒(モノ)を記録するCAPTURE録音が可能です。

録音

1 FREEZEタイプのプログラムをリコールします。

2 [DELAY] キーを押します。



← • FREEZE RECORD のページ表示がされます。

3 必要に応じて、各パラメーターを設定します。

4 [TRIGGER] キーを押して、録音待機の状態にします。



• リアパネルに接続したフットスイッチを押すことによっても、録音待機の状態にできます。

★ 「MODE」の設定が「CAPTURE」で、「AUTO/MAN」の設定が「MANUAL」の場合はこの手順は省略されます。

← • 録音状態表示「REC READY」、
「OVER DUB READY」または、
「CAPTURE READY」と表示されます。

5 《「MANUAL」の場合》
[TRIGGER] キーを押して、録音を実行します。

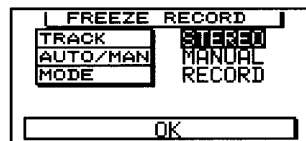


• リアパネルに接続したフットスイッチを押すことによっても、録音の実行ができます。

← • 録音状態表示
録音時間の経過がバーグラフで表示されます。

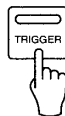
《「AUTO」の場合》
信号を入力して、録音を実行します。

6 《「RECORD」、「OVERDUB」の場合》
最大録音可能時間が経過すると、自動的に録音を終了します。



← • 録音状態表示
録音が終了すると「OK」と表示されます。

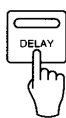
《「CAPTURE」の場合》
最大録音可能時間が経過後に、[TRIGGER] キーを押して、録音を終了します。



• リアパネルに接続したフットスイッチを押すことによっても、録音の終了ができます。

再生

- 1** [DELAY] キーを押して、「FREEZE PLAY」のページを表示します。



FREEZE PLAY	
MODE	MOMENTARY
START	0.00
END	5200.00
LOOP	0.00

← • 「FREEZE PLAY」のページ表示がされます。

- 2** 必要に応じて、各パラメーターを設定します。

- 3** 必要に応じて、もう1度 [DELAY] キーを押して、「FREEZE PITCH」のページの各パラメーターを設定します。

- 4** 《「MOMENTARY」の場合》
[TRIGGER] キーを押すと、押している間だけ再生します。



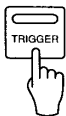
- リアパネルに接続したフットスイッチによる再生も可能です。
- MIDI再生の場合は、ノートオンの受信からノートオフの受信までの間再生します。

- 《「CONTINU.」の場合》
[TRIGGER] キーを押すと、設定回数分ループ再生をします。



- リアパネルに接続したフットスイッチによる再生も可能です。
- MIDI再生の場合は、ノートオンを受信すると、設定回数分ループ再生します。

再生途中で、もう1度、[TRIGGER] キーを押すと、再生を終了します。



- 《「INPUT TRG」の場合》
信号を入力すると、設定回数分ループ再生をします。

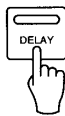
★ 再生は、「FREEZE PLAY」、「FREEZE PITCH」、「TITLE」のどのページ表示の状態でも可能です。

REPEAT DELAYの設定

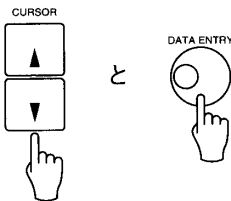
各ディレイタップを自動的に均等間隔に設定して、簡単に回数指定のディレイを作ることができます。

1 Delay系タイプのプログラムをリコールします。

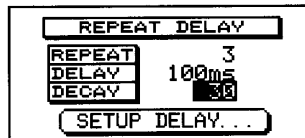
2 [UTILITY] キーを「REPEAT DELAY」のページが表示されるまで、1回または数回押します。



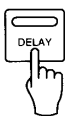
3 各パラメータを設定します。



4 [STORE] キーを押します。



★ [DELAY] キーを押して、ディレイのエディット表示に切り換えると、各ディレイタップが均等に設定されていることが確認できます。



	TIME	[LVL]	[PAN]
①	NOR 100.00	66	L16
②	NOR 200.00	44	R16
③	NOR 300.00	30	L16
④	① NOR 100.00	66	L16
⑤	② NOR 200.00	44	R16
⑥	③ NOR 300.00	30	L16